

編輯後記

第六十二号をお届けします。前号同様、発行が遅くなつてしまいました。相変わらず原稿集めと、出版費用の問題には苦勞しております。前号後記にて、本誌発行母体である日本語日本文学会の資金面での窮状をお伝えし、会費納入協力へをお願いを申し上げましたが、在学・在籍者以外の会員の方々には、本号と同時にそれがお手元に届く由、七月に行われた総会にて知るところとなりました。手続きの遅れを、私からもお詫び申し上げます。

さて、本号。本数は四本と少ないですが、前年度学部卒業生の卒業論文からのものが二本、現役大学院生の論稿が一本、それに教員の資料紹介による構成となり、内容的には幅のあるものとなつたかと自負しております。本会会員の学問的活躍ぶりをご覧戴くと共に、(くどくて恐れ入りますが)資金面での御協力を、会員諸氏には改めてお願い申し上げます。

「国文研究」 第六十二号

印刷 平成二十九年九月二〇日

発行 平成二十九年九月二十九日

編集・発行

熊本県立大学日本語日本文学会

熊本市東区月出三丁目一番一〇〇号

印刷 榊啓文社

☎ 〇九六一三六八一八二〇〇

執筆者紹介

津々見 彩

本学大学院博士前期課程

清水 咲希

本学卒業生

鈴木 二元

本学教授

渡辺 千尋

本学卒業生